

病害虫発生予察情報

7月月報

令和5年8月18日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2023年 7月	気温(℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	32.0	3.0	22.0	0.9	26.6	2.0	15.5	25	57.2	147
中旬	34.7	4.4	25.0	2.8	29.7	3.9	0.5	1	67.7	144
下旬	35.1	3.7	23.9	0.8	28.8	2.2	2.5	5	123.2	203
平均	33.9	3.6	23.7	1.5	28.4	2.7				
合計							18.5	11	248.1	168

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差(比)：平年値(1991～2020年の平均値)からの差(比)

<天候概況>

上旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨、雷を伴う日もあった。期間の終わりは、暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日があった。

中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。

下旬：期間の初めに湿った空気の影響で曇りの日があったが、その後は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れの日が続いた。気温のかなり高い日が多く、特に7月24日からは日最高気温が35℃以上の猛暑日が続いた。関東甲信地方は7月22日ごろ梅雨明けしたとみられる(速報値)。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育は概ね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：高温と強い日射の影響で、エダマメで葉の黄化が他の果菜類で日焼け果の発生が見られた。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。

イモ類：サツマイモの生育は順調、一部サトイモのほ場で葉焼け障害が見られた。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：降水量が少なかったため、肥大が緩慢であった。

(4) 茶樹

雑草管理を行っていた。大きな生理障害、病害虫被害もなく生育はおおむね良好であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 並 >	発生は平年並であった
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	予察灯の誘殺数はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや多かった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病虫害

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病虫害		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。

(6) 島しょの病虫害

大 島：大島、新島、式根島、神津島でアオバハゴロモの発生が多かった。

八丈島：トマトでトマトサビダニの発生が多かった。キキョウランでカイガラムシ類の発生はやや多かった。

その他の地域では多発生の病虫害は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp
/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。